

富士レジン®のコンクリートプロテクション

ポリウレタン NS#606B

低臭・低VOC揮散量

“ノンステレン”ビニルエステル樹脂FRP防食



浄水場

下水処理施設

排水処理施設

化学工場

実験室

各種プラント

人と暮らしの環境テクノロジー

FUJI RESIN

ポリクリート NS#606B

汎用ビニルエステル樹脂に含まれるスチレンを、特化則の規制を受けないモノマーに変換しました。低臭でVOCの揮散も少ないので、作業場所周辺環境へも配慮します。

VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

ポリクリートNS#606Bの特長

1. 低臭・低VOC揮散量

汎用ビニルエステル樹脂に比べて、ニオイが少なく*、VOC揮散量も少なくなっています。

*無臭ではありません。スチレンのような刺激臭はありませんが、特有の樹脂の臭いがします。

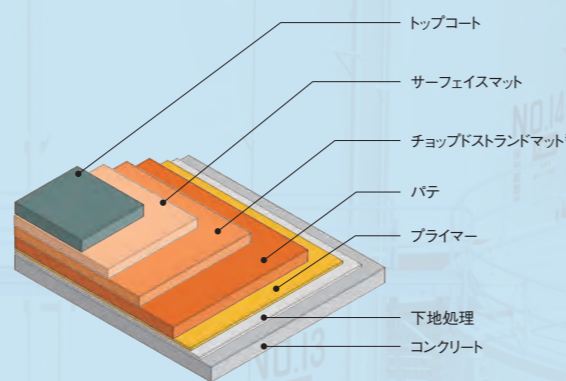
2. 優れた接着性

湿潤面に対応した特殊プライマーの採用により、高い接着性を発揮します。

3. 優れた耐薬品性

一般的なFRP防水用のノンスチレン樹脂と比較して、耐薬品性に優れています。

〈ポリクリートNS#606B 施工断面図〉



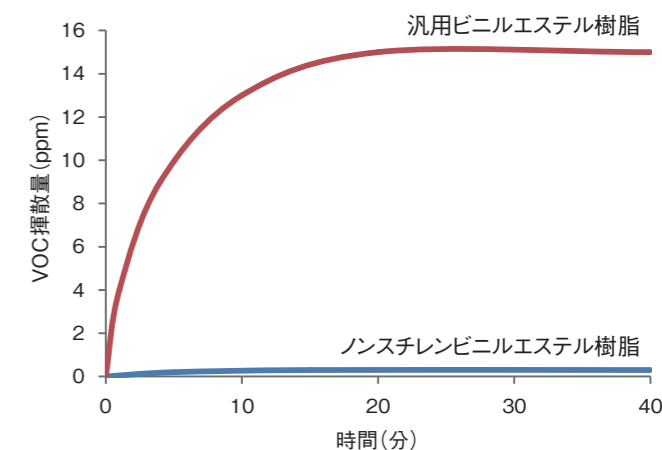
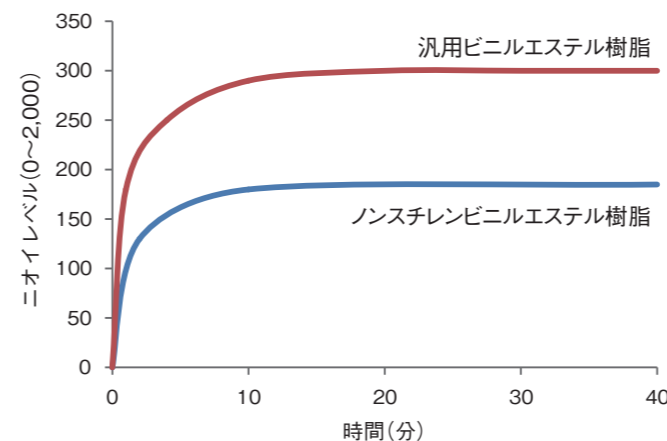
厚み: 0.7~1mm

*チョップドストランドマット EM300/C種、EM450/D種



低臭、低VOC揮散量

ニオイは、汎用ビニルエステル樹脂に比べて60%、VOC揮散量はわずか0.3ppmです。



優れた接着力

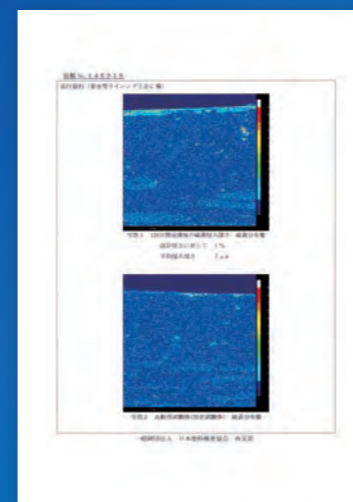
40℃温水に1ヶ月浸漬した試験片の引張試験で、母材破壊となります。



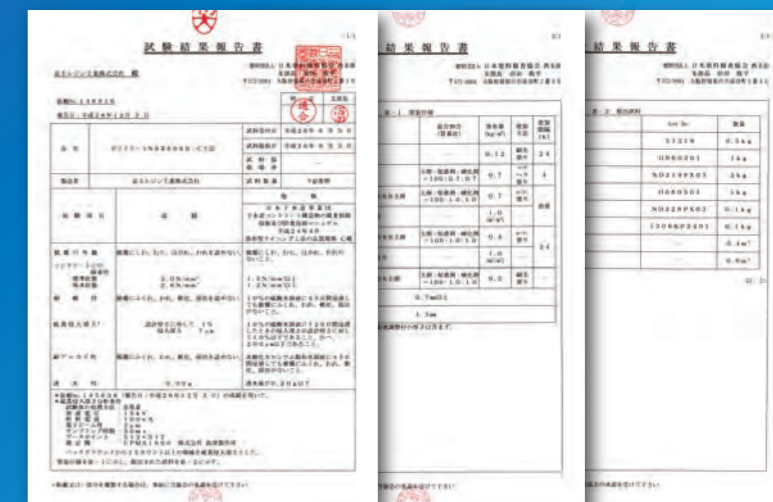
耐薬品性

薬品	
30%硫酸	○
20%水酸化ナトリウム	○
20%酢酸	○
10%食塩水	○
蒸留水	○

日本下水道事業団仕様 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び 防食技術マニュアル(平成24年4月)C種・D種に適合



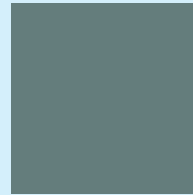
EPMA (硫黄侵入深さ)



物性表

項目	単位	積層板	注型板
曲げ強さ	MPa	121	78
曲げ弾性率	MPa	5,050	3,700
引張強さ	MPa	88	49
バーコール硬度 (GYZJ934-1)	—	42	32
熱変形温度	°C	65	65

色見本



55-50D近似色

使用材料一覧表

分類	品名	成分	用途	荷姿
プライマー	ポリタック#1010	浸透性湿気硬化型ウレタン樹脂	コンクリートとの接着	17kg
下地調整材	ポリクリートNSバテ	ノンスチレンビニルエステル樹脂	下地の不備を調整する	20kg
積層用樹脂	ポリクリートNS#606B主剤	ノンスチレンビニルエステル樹脂	耐食性	15kg
トップコート	トップコートNS#606主剤	ノンスチレンビニルエステル樹脂	仕上・表面硬化	18kg
促進剤	促進剤NS	コバルト溶液	硬化促進剤	1kg・5kg・16kg
硬化剤	硬化剤328E	有機過酸化物	硬化剤	1kg・5kg
強化材	ガラスマットEM300	ガラス繊維	強化材	30kg
	ガラスマットEM450			30kg
	サーフェスマット#30			300m

ご使用上の注意事項

取扱いならびにご使用にあたって、次の事項に十分留意されますようお願いいたします。

- 材質は、用途に応じ選定されていますので、ご使用条件は設計時の条件を必ずお守り下さい。止むを得ず変更される場合は、弊社にご相談ください。
- ご使用中は、異常がないかどうか、必ず定期的に見視などによる点検を行って下さい。異常が発見された場合は弊社にご連絡下さい。
- 槽などの点検、洗浄などで内部に入る場合は、ライニング表面を傷つけないよう底の柔らかい靴をご使用下さい。また、濡れている場合は、滑りやすくなりますのでご注意ください。なお、内部洗浄は水洗いを原則としていますので、蒸気洗浄・溶剤洗浄・薬品洗浄の場合は弊社にご相談下さい。
- 周辺で作業される場合は、火気を接触させたり、衝撃を与えないよう(工具などをぶつけたり、落としたり)ご注意ください。
- 材料の取扱いについては、事前に缶に貼付のラベル、その他の注意書きおよび別添の安全データシート(SDS)をよくお読み下さい。その他、ご不明な点がございましたら、弊社にお問い合わせ下さい。



富士レジン工業株式会社

本社・工場 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江3丁目1番17号
TEL.(06)6499-0301 FAX.(06)6497-0821

東京支店 TEL.(03)3663-4300 FAX.(03)3663-4304
富士工場 TEL.(0545)71-4143 FAX.(0545)71-0558

名古屋営業所 TEL.(052)771-3866 FAX.(052)776-7056
福岡営業所 TEL.(092)781-6858 FAX.(092)781-7871